

# ヘルス・ナビ・ステーション 活動チェックリスト

～貴方はこれに合格していますか～

## 【設備・商品管理】

1. 管理責任者は常に店舗に勤務しているか
2. 許可証を店舗の見易い所に掲示しているか
3. 店舗は明るく清潔であるか
4. お客様が気軽に入店できる工夫をしているか
5. 使用期限のある商品について充分注意を払っているか（使用期限、有効期限の管理）
6. 店頭・店内のポスターは汚れていないか
7. ヘルス・ナビ・ステーションの「のぼり」又は「ステッカー」があるか
8. 医薬品とその他の商品を区別して陳列しているか

## 【相談販売・接客】

9. お客様に明るい笑顔で接しているか
10. 生活者（特に女性）の悩み苦情を聞いているか
11. 高齢者・身障者に対する配慮並びに健康相談を受け入れているか
12. お客様の身になって相談にのっているか（一番困っている症状は何か）
13. アレルギー体質等の患者情報をよく聞いているか
14. 症状によっては、お医者さんに診てもらおうように勧めているか
15. 医療機関で処方された薬を確認しているか
16. お客様の体調、体質に合った適切な服薬指導、保管方法等を指導しているか
17. お客様に喜びと安心と満足を与えたか（お客様より“おかげさまで”と言われる店）
18. 常連顧客（ロイヤルカスタマー）の顧客管理（薬暦管理）をしていますか

## 【知識・研修】

19. 疾患・病気に対する、十分な説明が出来る得意分野を持っているか
20. 健康に関連する食品などにも精通しているか
21. メーカー、業界紙からの情報収集に努めているか
22. 研修会や講演会へ積極的に参加しているか
23. 厚生労働省他、行政機関の動きを（ホームページ等）常に確認しているか



# くすりはきちんと買って (大衆薬) 正しく飲もう!

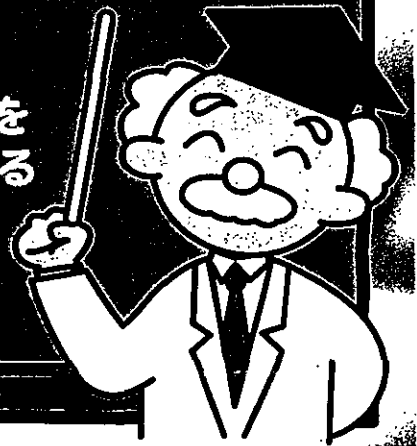
**\* 購入するときは \***

- ① 誰が飲むのか
- ② どのような症状か
- ③ アレルギー等の体質を説明する
- ④ 相談の上買い求める

**\* 服用するときは \***

- ① 現品説明書の「してはいけないこと」を読む
- ② いつ飲むか
- ③ どれだけの量を飲むか確認する

**\* 以上のことを守ってください、よく効きます。**




## 5月5日は「くすりの日」

昭和62年に全国医薬品小売商業組合連合会が「薬の効用をPRするため」制定し、記念日登録をした。その理由は、611年推古天皇(すいこてんのう)が5月5日に大勢の家来を引き連れ、鹿などの動物を狩り集める「薬獵(くすり猟)」をしたと日本書紀に出ています。このような故事に因んで全国医薬品小売商業組合連合会は1987年以来、5月5日を「くすりの日」と定め、みなさまの健康と、くすり文化の正しい発展のために尽くしたいと願っています。



協賛

くすりのことはこのマーク  (HNS)のある  
お店で相談してお買い求めください。

# 薬と健康の週間

[10月17日(日)～10月23日(土)]

## くすりはきちんと買って正しく飲もう!

(大衆薬)

### \* 購入するときは \*


- ① 誰が飲むのか
- ② どのような症状か
- ③ アレルギー等の体質を説明する
- ④ 相談の上買い求める

### \* 服用するときは \*

- ① 現品説明書の「してはいけないこと」を読む
- ② いつ飲むか
- ③ どれだけの量を飲むか確認する

\* 以上のことを守ってください、よく効きます。



くすりのことはこのマーク  (HNS) のあるお店で相談してお買い求めください。



全国医薬品小売商業組合連合会

主催

厚生労働省、都道府県、(社)日本薬剤師会、都道府県薬剤師会

後援

文部科学省、(独)医薬品医療機器総合機構、日本製薬団体連合会  
(社)全日本薬種商協会、(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター  
全国配置家庭薬協会、全国医薬品小売商業組合連合会

# 5月1日 ～ 31日 大衆薬キャンペーン 街頭活動を重点に

医薬全商連は、薬局・薬店が生活者にとって身近な健康情報発信基地であることをアピールするキャンペーンを毎年5月に全国規模で展開しているが、今年はその「大衆薬キャンペーン」が18回目を迎える。今回も5月1日から1か月間にわたり生活者へ大衆薬の正しい使用方法を啓蒙するほか、キャンペーンでは6月5日は「くすりの日」を大々的にアピールし、ヘルス・ナビ・ステーション（健康情報発信基地）を実践することで地域医療の一員として地域の生活者に信頼される薬局・薬店を目指す。近畿会長は、「医薬全商連が提唱するヘルス・ナビ・ステーションはセルフメディケーションのお手伝いをする。地域生活者に密着し、健康情報をアドバイスするのが薬局・薬店の役割である」と信じている。日本大衆薬工業協会は、セルフメディケーションの普及に全力を傾注しており、それには学校教育の中で取り上げることの必要性を指摘している。私達が展開する大衆薬キャンペーンの目的は、医薬品をどう正しく使うかを生活者に知ってもらうことにある。街頭キャンペーンの反応は大変喜ぶべきだと感じている。もっと積極的に活動すべきだというのが分かった。川下から川上へと、綿密に系統的にセルフメディケーションによるO.T.C.の発展に寄与していきたい」とキャンペーンの重要性を強調する。

昨年の大衆薬キャンペーンでは、医薬全商連の事業活動に対しメーカー、卸の理解を深めることができ、積極的な支援が行われた。また、各県の薬務行政に対しては事業内容の説明を行い、企画会議への参加を含めて運動への理解を促進させることができた。医薬全商連が展開する大衆薬キャンペーン活動の中で最も重視しているのが、単商組毎に実施している「街頭キャンペーン」である。この街頭キャンペーンに昨年は17商組が参加し、都心の目抜き通りでくすり

の正しい使い方を重点に積極的なアピールを展開したが、今年是一段と拡大した街頭キャンペーンが期待されている。

「5月5日は薬の日」

生活者の健康と安全な生活を確保するため、大衆薬の正しい使用方法を啓蒙する。合わせて、医薬全商連が記念日として登録（昭和62年）している「薬の日」を大々的にPRし、地域医療の一員としてヘルス・ナビ・ステーション（健康情報発信基地）を実践し、生活者に信頼される薬局・薬店作りを目指す。

平成17年5月1日～5月31日の1か月間、  
〇「くすりの日」の活動  
〇「薬の日」の活動

第18回大衆薬キャンペーン  
〇全国医薬品小売商業組合連合会

## 「くすりはきちんと買って 正しく飲もう！」

購入するときは  
①薬が自分のか  
②どのようなかたか  
③アレルギー等の体質を説明する  
④相談の上買い求める

服用するときは  
①薬品説明書の「正しい使い方」をよく読む  
②いつ飲むか  
③どれだけの量を飲むかを確認する

※以上のことを守ってくださいますと、よく効きます。

〇「くすりの日」の活動  
〇「薬の日」の活動

〇「くすりの日」の活動  
〇「薬の日」の活動

〇「くすりの日」の活動  
〇「薬の日」の活動

5月5日は「くすりの日」  
昭和62年に全国医薬品小売商業組合連合会が「薬の効用をPRするため」制定。記念日登録した。その理由は、611年推古天皇（すいてんのお）が5月5日に大勢の家来を引連れ、唐などの動物を狩り果てた（蘇我（くすり買））をしたと日本書紀に出ています。このような故事に因んで全国医薬品小売商業組合連合会は1987年以来、5月5日を「くすりの日」と定め、みなさまの健康と、くすり文化の正しい発展のために尽力しつづけています。

くすりのことはこのマーク（HNS）のある  
お店で相談してお買い求めください。

（社）日本薬師会、（社）全日本薬師会、日本大衆薬工業協会、（社）日本医薬品卸業連合会、（社）日本医薬品卸業連合会、（社）HNS推進協議会

〇「くすりの日」の活動  
〇「薬の日」の活動

〇「くすりの日」の活動  
〇「薬の日」の活動

〇「くすりの日」の活動  
〇「薬の日」の活動

「くすりの日」の活動  
「薬の日」の活動

〇「くすりの日」の活動  
〇「薬の日」の活動

〇「くすりの日」の活動  
〇「薬の日」の活動

〇「くすりの日」の活動  
〇「薬の日」の活動

「くすりの日」の活動  
「薬の日」の活動

〇「くすりの日」の活動  
〇「薬の日」の活動

〇「くすりの日」の活動  
〇「薬の日」の活動

〇「くすりの日」の活動  
〇「薬の日」の活動

「くすりの日」の活動  
「薬の日」の活動

〇「くすりの日」の活動  
〇「薬の日」の活動

〇「くすりの日」の活動  
〇「薬の日」の活動

〇「くすりの日」の活動  
〇「薬の日」の活動

「くすりの日」の活動  
「薬の日」の活動

〇「くすりの日」の活動  
〇「薬の日」の活動

第30号  
全国医薬品小売商業組合連合会  
発行人 近藤良男  
編集/Pharma & Care 研究所  
〒541-0044  
大阪市中央区伏見町  
2-3-4 ホンダビル  
TEL (06)6204-1341  
FAX (06)6204-1364

第30号  
全国医薬品小売商業組合連合会  
発行人 近藤良男  
編集/Pharma & Care 研究所  
〒541-0044  
大阪市中央区伏見町  
2-3-4 ホンダビル  
TEL (06)6204-1341  
FAX (06)6204-1364

「くすりの日」の活動  
「薬の日」の活動

「くすりの日」の活動  
「薬の日」の活動

「くすりの日」の活動  
「薬の日」の活動

「くすりの日」の活動  
「薬の日」の活動

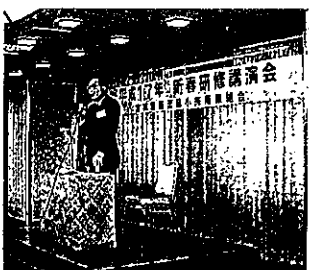
「くすりの日」の活動  
「薬の日」の活動

# 宮城県小売商組 新春研修会開

## 近藤会長、室伏大衆薬協部長を講師に

宮城県医薬品小売商業組合の恒例の新春研修会が2月5日仙台市内のホテルで開かれた。例年は県内で活躍中の商業者を招いたが、今回は宮城県外からも講師を招いた。今回は、宮城県外からも講師を招いた。今回は、宮城県外からも講師を招いた。

医薬全商連の近藤会長、日本大衆薬工業協会の室伏部長という小売業界の指導的立場の人に出席を願い、現在低迷している小売経済活動に深く密着した演題を



宮城県医薬品小売商業組合の新春研修会。室伏大衆薬協部長が講師を務めた。

取り上げ、その問題点を掘り下げてもらった。研修会には、組合員、関係者およびメーカー関係者をはじめ、県中央会幹事、宮城県・仙台市各薬剤師会会長、県薬種商協会展長ら50人余が出席、両氏の講演に耳を傾けた。

今回の研修企画は、医薬全商連が平成17年度事業の注として計画しており、単商組を対象とした「研修事業」のテストケースとして注目されている。

近藤会長は、「これから「規制緩和・民間開放推進会議」という名のもとで小泉政府と一体となって小売業界を締め付ける手は打つまいである」と見通した。

このような状態の下で今更だ、全薬協などの友好団体と一緒に戦ってきたが、組合員一人一人が「ヘルス・ナビ・ステーション」の基

本に戻り「かかりつけ薬局・薬店」としての存在を高めなければ、今後の環境悪化の中で生き残ることは至難だと語った。

室伏部長「IT活用で情報先取り」力説

引き続き講演した室伏部長は「生き残り戦略」IT活用について論議を展開した。冒頭、「お客様の方がクオリティについて一般的に言っている皆さんより熟知しています」と「ITはショックを受けた。このことは一般市民の「セルフメディケー

ション」という自己の健康管理がこの10年で様変わりしたことが挙げられる。「IT技術」の向上、普及も見のせない。今、インターネットを探索すると、様々な健康情報、クソスリの副作用情報、さらには医療用医薬品情報までがチェックできる状況にある。

今、生活者の多くは安売商品や目玉商品はドラッグストアで買求めるが、本場の健康情報のプロフェッショナルとしての「かかりつけ薬局・薬店」を探し求めている。日進月歩の時代である。常に勉強し、メーカーからの情報を収集し、来店するお客様より情報に先取りをすることが重要になる。このことがこれから

近藤会長は「規制緩和と医薬全商連の見解」というテーマで現在までの活動の流れを説明。その中で、規制緩和がどういった社会情勢でスタートしたかという点に触れ、医薬品販売業者が「薬事法」という社会的規制に守られている中で、バブル崩壊による「不良債権処理」のために「規制緩和」

「規制改革」→「構造改革」→「セルフメディケー

ション」という自己の健康管理がこの10年で様変わりしたことが挙げられる。

「IT技術」の向上、普及も見のせない。今、インターネットを探索すると、様々な健康情報、クソスリの副作用情報、さらには医療用医薬品情報までがチェックできる状況にある。

今、生活者の多くは安売商品や目玉商品はドラッグストアで買求めるが、本場の健康情報のプロフェッショナルとしての「かかりつけ薬局・薬店」を探し求めている。日進月歩の時代である。常に勉強し、メーカーからの情報を収集し、来店するお客様より情報に先取りをすることが重要になる。このことがこれから

室伏部長は「IT活用で情報先取り」力説

引き続き講演した室伏部長は「生き残り戦略」IT活用について論議を展開した。冒頭、「お客様の方がクオリティについて一般的に言っている皆さんより熟知しています」と「ITはショックを受けた。このことは一般市民の「セルフメディケー

ション」という自己の健康管理がこの10年で様変わりしたことが挙げられる。

「IT技術」の向上、普及も見のせない。今、インターネットを探索すると、様々な健康情報、クソスリの副作用情報、さらには医療用医薬品情報までがチェックできる状況にある。

### 各単組で「推奨品シール」を作ろう

政府の規制緩和政策は、薬業界に予想以上の変化をもたらしています。特に、最近の大型ドラッグストアの拡大は、専門薬局・薬店の経営に重大な影響を及ぼしています。

各単組においても、高齢化により後継者不在などで経営が思わしくなく、閉店・廃業にやむなく追い込まれている店舗が急速に増えています。特に、大型ドラッグストアが近くに開店すれば、価格競争が激しくなり、近隣の専門薬局・薬店が経営不振に陥るのは必至です。

そこで価値面だけでなく、大型ドラッグストアの実態を知るのも大切なことではないでしょうか。

確かに、大型ドラッグストアは消費者の心理を掴み、近代経営に徹しています。専門薬局・薬店の中には、旧態依然とした姿が見られることも確かです。大型ドラッグストアでは店舗の広さによって、関連商品の品揃えの豊富さ、車社会に対応し広い駐車場を完備し、店内の照明は明るく、ホコリ一つない美しい商品の陳列、店員の笑顔とハキハキとした言葉使い、商品の回転の早さ、さらには消費者は店内で自由に商品を選ぶことができると、専門薬局・薬店と対比すれば、その優位性は否定できません。



「ずっとお元気で、「いつまでもお美しく」。そんな優しい気持ち広がるヘルスギフト券。全国の薬局・薬店で扱うほとんどの商品がお求めになれますから、贈られた方みんなに喜ばれます。お見舞いやお祝い、季節のごあいさつなど、手軽な贈り物として幅広くご利用ください。

- ### 〈ヘルスギフト券発行の21組合〉
- ・北海道医薬品小売商業組合
  - ・静岡県医薬品小売商業組合
  - ・青森県医薬品小売商業組合
  - ・京都府医薬品小売商業組合
  - ・岩手県医薬品小売商業組合
  - ・山口県医薬品商業組合
  - ・宮城県医薬品小売商業組合
  - ・香川県医薬品小売商業組合
  - ・秋田県医薬品小売商業組合
  - ・福岡県医薬品小売商業組合
  - ・埼玉県医薬品小売商業組合
  - ・佐賀県医薬品小売商業組合
  - ・千葉県医薬品小売商業組合
  - ・長崎県医薬品小売商業組合
  - ・東京都医薬品小売商業組合
  - ・熊本県医薬品小売商業組合
  - ・神奈川県医薬品小売商業組合
  - ・大分県医薬品小売商業組合
  - ・新潟県医薬品小売商業組合
  - ・宮崎県医薬品商業組合
  - ・石川県医薬品小売商業組合